ALINCO

WAVE CATCHER

DJ-X01

取扱説明書

アルインコのレシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読み下さい。また、この取扱説明書は大切に保管して下さい。ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号日本橋プラザビル14階 ☎03-3278-5888
大阪営業所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号新ダイビル9階 ☎06-4797-2135
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号第3博多偕成ビル7階 ☎092-473-8034

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。受付時間／10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日は除きます)

PS0444

目　次

付　録

定　格

受信周波数	76.1～169.995MHz 380.2125～449.995MHz
電波形式	A3（AM）、F3（FM、WFM）
アンテナインピーダンス	50Ω不平衡
アンテナ端子	SMA型
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
中間周波数	1st 39.15MHz（FM、AM）　13.35MHz（WFM） 2nd 450KHz
音声出力	80mW以上
定格電圧	DC2.4V～3.0V
外部電源	EIAJ規格　区分2　DC4.5V～6.0V
接地方式	マイナスアース接地
消費電流	80mA（typ）
使用温度範囲	－10℃～＋60℃
外形寸法	58（W）×100（H）×19（D）mm　（突起物除く）
重量	150g（乾電池含む）
受信感度（代表値）	WFM　76.1～107.75MHz　10dBu　12dB SINAD AM　108～135.995MHz　3dBu　10dB S/N FM　136～169.995MHz　－7dBu　12dB SINAD 380.2125～449.995MHz　－4.5dBu　12dB SINAD

アフターサービスについて

保証書

保証書には必ず所定事項(ご購入店名、ご購入日、販売店捺印)の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
万一、販売店で所定事項を記入されなかった場合は、お買上時のレシートなどご購入日時の特定できるものを保存してください。

保証期間

お買い上げの日より1年間です。
正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お手数ですが製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。
保証書の規定にしたがって修理いたします。

●保証期間が経過した場合
お買い上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料で修理いたします。

※アフターサービスについて、ご不明な点はお買い上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。

機能と特長

●DIY（Design It Yourself）コンセプト
自分でデザインしたフェイスシートで、オリジナルレシーバーに変身します。

●単三乾電池2本仕様のシンプル＆コンパクトボディ
名刺サイズ（90mm×55mm）に匹敵するコンパクトサイズです。

●本体にトリクル充電回路内蔵
外部電源端子から充電します。

●秘話を再生
音声反転機能で音声が反転している信号を元に戻す機能です。

●盗聴器を探知
盗聴器で使われそうな周波数を探知する機能です。

●盗撮電波を探知
至近距離から出ている強い電波を探して盗撮器などを見つけるお手伝いをする機能です。

●イヤホンアンテナ
市販のイヤホンのコードがアンテナになります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△ 記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⊘	○ 記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因にて通信等の機会を失ったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

故障とお考えになる前に

本製品が故障かな?と思ったら、まずこちらをお読みください。

トラブル	原因	対処方法
電源が入らない	電池が消耗している	乾電池を入れ替えるか、充電池を充電する
	電池の＋、－が逆になっている	極性を確認して電池を入れる
	電池ケースが接触不良を起こしている	電源ケース内の電極の汚れなどを取り除く
スピーカから音が出ない	音量レベルが低すぎる	音量を上げる
	イヤホンが接続されている	イヤホンを外す
	スケルチが閉じている	スケルチレベルを調整またはOFFにする
異常な表示や動作になる	CPUが誤動作している	電池を入れ直すか、それでも解決しなければリセットする
	電池が消耗している	乾電池を入れ替えるか、充電池を充電する
感度が悪い	スケルチレベルが高すぎる	スケルチレベルを調整またはOFFにする
	アッテネータがONになっている	アッテネータをOFFにする
	アンテナ切り替え設定が適当でない	使用するアンテナの種類を確認して切り替える
受信音が悪い	電池が消耗している	乾電池を入れ替えるか、充電池を充電する
	音声反転機能がONになっている	音声反転機能をOFFにする
周波数などの設定ができない	キーロックがかかっている	キーロックを解除する
スキャンができない	スケルチが開いている	スケルチを雑音が消えるレベルに設定する
表示が点滅する	電池が消耗している	乾電池を入れ替えるか、充電池を充電する

●処置を施しても異常が続くときは、リセット（初期化）してください（☞ P34）。症状が回復する場合があります。

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
0	398.485		FM
	398.605		FM
	398.64		FM
	398.65		FM
	398.71		FM
	398.99		FM
	399		FM
	399.03		FM
	399.11		FM
	399.2		FM
	399.2125		FM
	399.225		FM
	399.2375		FM
	399.25		FM
	399.275		FM
	399.2875		FM
	399.43		FM
	399.445		FM
	399.455		FM
	399.4625		FM
	399.575		FM
	399.59		FM
	399.605		FM
	399.615		FM
	399.64		FM
	399.65		FM

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
0	399.75		FM
	399.91		FM
	399.99		FM
	400		FM
	401		FM
	406.52		FM
	407.21		FM
	407.905		FM
	410.11		FM
	410.15		FM
	410.25		FM
	410.35		FM
	410.97		FM
	411.835		FM
	418.5625		FM
	423.335		FM
	423.97		FM
	428.635		FM
	429.07		FM
	429.505		FM
	441.115		FM
	442.8		FM
	442.9		FM
	444.115		FM
	444.885		FM
	445.665		FM

盗聴器発見周波数範囲(17波)		
周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
398.605		FM
399.455		FM
139.97		FM
399.03		FM
400		FM
397.25		FM
140		FM
399.605		FM
398.64		FM
134		FM
399.25		FM
399		FM
134.9		FM
139.96		FM
139.6		FM
149		FM
361.825		FM

⚠危険

■使用環境・条件

もし、内部からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
そのままにしておくと、皮膚がかぶれる原因となります。

内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。
そのままにしておくと、目に障害が起きることがあります。

■安定化電源の使用について

端子［（+）（−）］をショートさせないでください。
また、端子を針金などの金属類で接続しないでください。
液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。

金属製ネックレスなどといっしょに持ち運んだり、保管しないでください。
液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。

⚠警告

■使用環境・条件

電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。
運行の安全や無線局の運用や放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。
お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込み使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品を人命救助等の目的で使用して、万一、故障・誤動作等が原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

自動車用のオプション品は運転の妨げにならないように配線し、確実に取り付けてください。
ケーブル類が足や運転装置にからむと、事故の原因となります。また、確実に取り付けられていないと、急ブレーキなどによる事故の原因となります。

自動車などを運転中に使用しないでください。
交通事故の原因となります。運転者が使用するときは車を安全な場所にとめてから使用してください。

■レシーバー本体の取扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

このレシーバーは調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■チャージャーの取扱いについて

AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

チャージャーのACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手でチャージャーのACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

チャージャーのACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

チャージャーのACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

■安定化電源の使用について

AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

安定化電源の電源プラグと他の製品の電源プラグをタコ足配線しないでください。

ぬれた手で安定化電源の電源プラグに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

安定化電源の電源プラグをACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

DCケーブルを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは、絶対にしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
9	158.49~159.25	20	FM
	162.93~167.33	20	FM
	169.01~169.65	20	FM
	382.875~382.9	25	FM
	382.95~382.975	25	FM
	383.05~383.325	25	FM
	398.875~398.9	25	FM
	398.95		FM
	399.05~399.75	25	FM
	414.425		FM
	414.55~415.45	25	FM
0	110.15		FM
	124.09		FM
	134		FM
	134.16		FM
	134.9		FM
	135.365		FM
	136		FM
	136.6		FM
	137.97		FM
	139		FM
	139.4		FM
	139.45		FM
	139.6		FM
	139.7		FM
	139.875		FM

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
0	139.9		FM
	139.94		FM
	139.96		FM
	139.97		FM
	139.98		FM
	140		FM
	140.05		FM
	140.45		FM
	140.5		FM
	141		FM
	141.45		FM
	142.9		FM
	143.205		FM
	143.78		FM
	143.85		FM
	143.88		FM
	143.91		FM
	143.94		FM
	143.97		FM
	149		FM
	149.45		FM
	149.51		FM
	149.895		FM
	150.5		FM
	153.35		FM
	154		FM

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
0	154.1		FM
	154.3		FM
	154.35		FM
	154.585		FM
	380.425		FM
	389.605		FM
	390.64		FM
	395.75		FM
	396.43		FM
	396.44		FM
	396.605		FM
	396.82		FM
	397.24		FM
	397.25		FM
	397.565		FM
	397.635		FM
	398.01		FM
	398.03		FM
	398.05		FM
	398.065		FM
	398.11		FM
	398.215		FM
	398.31		FM
	398.45		FM
	398.455		FM
	398.46		FM

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
8	152.75~153.03	20	FM
	153.11		FM
	153.23~153.25	20	FM
	153.31		FM
	153.35		FM
	153.43		FM
	153.49~153.55	20	FM
	153.59~153.61	20	FM
	153.73~153.77	20	FM
	153.83~153.91	20	FM
	154.07		FM
	154.15		FM
	154.19~154.21	20	FM
	154.29~154.31	20	FM
	158.35		FM
	161.45		FM
	382.925		FM
	383~383.025	25	FM
	398.925		FM
	399		FM
	407.2~407.5	25	FM
	407.725		FM
	411.6		FM
9	142.18~142.32	20	FM
	142.9~142.92	20	FM
	143.8~143.98	20	FM

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
9	146.06		FM
	146.27		FM
	146.62~146.74	20	FM
	147.6~147.72	20	FM
	147.8~147.98	20	FM
	148.05~148.17	20	FM
	148.69~148.73	20	FM
	148.77~149.03	20	FM
	149.07~149.09	20	FM
	149.17		FM
	149.33		FM
	149.39~149.53	20	FM
	149.57		FM
	149.81~149.87	20	FM
	150.05~150.13	20	FM
	150.21~150.25	20	FM
	150.37~150.41	20	FM
	150.49~150.69	20	FM
	150.93		FM
	150.97~151.09	20	FM
	151.13		FM
	151.17		FM
	151.25		FM
	151.29		FM
	151.33		FM
	151.37~151.41	20	FM

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
9	151.49~151.53	20	FM
	151.61		FM
	151.65		FM
	151.73		FM
	151.77~151.79	20	FM
	151.85~151.97	20	FM
	152.13~152.19	20	FM
	152.25		FM
	152.33~152.37	20	FM
	152.41~152.53	20	FM
	152.65~152.73	20	FM
	153.03~153.09	20	FM
	153.13~153.21	20	FM
	153.29		FM
	153.33		FM
	153.37~153.41	20	FM
	153.45~153.49	20	FM
	153.57		FM
	153.65~153.69	20	FM
	153.81		FM
	153.93~154.05	20	FM
	154.09~154.13	20	FM
	154.17		FM
	154.25~154.27	20	FM
	154.33~154.61	20	FM
	157.45~158.17	20	FM

■シガーライターケーブルの使用について

DC12V車専用ですので、大型車などのDC24Vには直接接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

ぬれた手でシガーライターケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外してください。また、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、危険ですから、絶対にお止めください。

- ■ 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ■ 落としたり、ケースを破損したりしたとき
- ■ 内部に水や異物が入ったとき
- ■ ACアダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら、安全のため本体の電源をOFFにしてください。チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

本体やチャージャーのケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

⚠注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■レシーバー本体の取扱いについて

アンテナを誤って目にささないようにしてください。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにし、電池をとりはずしてください。チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

本機を持ち運ぶときは、充電端子をショートさせないように注意してください。大電流が流れ、やけどや火災の原因となることがあります。

■チャージャーの取扱いについて

チャージャーのACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

チャージャーのACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池をとりはずしてください。チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

水滴が付いたら、乾いた布でふきとってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

■外部電源使用時の注意

本機に接続する外部電源は、必ず出力電圧が4.5V～6.0V（0.5A以上）の範囲内にある直流電源をご使用ください。

車のシガーソケットから電源を取る場合には、シガーDC/DCコンバーター（EDH-18）をご使用ください。

外部電源ケーブルの抜き差しは、必ず本体の電源をOFFにしてからおこなってください。

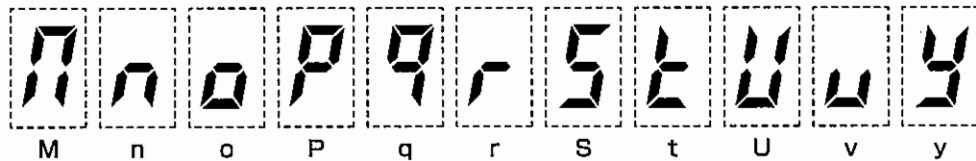
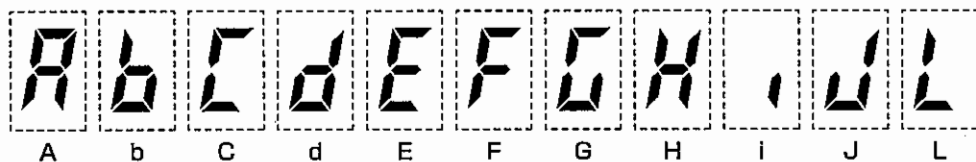
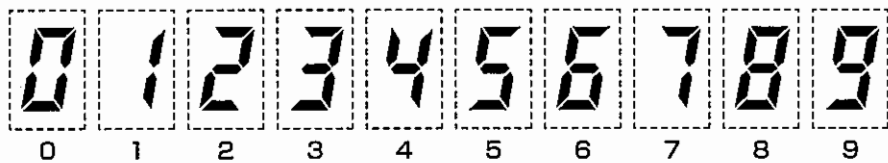
バンド周波数一覧

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
1	76.1~89.9	100	WFM
	95.75~107.75	6M	WFM
2	118~136	25	AM
	138.05~139.1	50	AM
	139.125		AM
	139.15~141.95	50	AM
3	144~145.98	20	FM
	430~439.98	20	FM
4	156.025~157.425	25	FM
	160.625~160.95	25	FM
	161.5~162.025	25	FM
5	380.2125~381.3125	12.5	FM
6	421.8125~421.9125	12.5	FM
	422.2~422.3	12.5	FM
	440.2625~440.3625	12.5	FM
	421.575~421.7875	12.5	FM
	422.05~422.175	12.5	FM
	440.025~440.2375	12.5	FM
7	383.35~383.45	12.5	FM
	149.45		FM
	150.55		FM
	150.85		FM
	152.825		FM
	·148.89		FM
	382.8		FM
	382.825		FM

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
7	382.85		FM
	382.8625		FM
	398.8~398.8625	12.5	FM
	151.37		FM
	151.41		FM
	151.85		FM
	154.03		FM
	414.62		FM
	414.75		FM
	414.85		FM
	415.35		FM
8	142.66~142.68	20	FM
	142.76~142.88	20	FM
	143.26~143.5	20	FM
	143.74~143.78	20	FM
	146.02~146.04	20	FM
	146.08		FM
	146.3~146.34	20	FM
	146.76~146.88	20	FM
	147~147.5	20	FM
	147.74~147.78	20	FM
	148.01~148.03	20	FM
	148.21~148.67	20	FM
	148.75		FM
	149.05		FM
	149.11~149.15	20	FM

バンド	周波数(MHz)	ステップ(kHz)	電波型式
8	149.35~149.37	20	FM
	149.55		FM
	149.61~149.79	20	FM
	150.15~150.19	20	FM
	150.27~150.35	20	FM
	150.43~150.47	20	FM
	150.71~150.77	20	FM
	150.91		FM
	150.95		FM
	151.11		FM
	151.15		FM
	151.19~151.23	20	FM
	151.27		FM
	151.31		FM
	151.35		FM
	151.43~151.47	20	FM
	151.55~151.59	20	FM
	151.63		FM
	151.67~151.71	20	FM
	151.75		FM
	151.81		FM
	151.99~152.19	20	FM
	152.23		FM
	152.27~152.31	20	FM
	152.39		FM
	152.57~152.63	20	FM

付　録　ディスプレイ表示

電波法上のご注意/お願いとおことわり

電波法上のご注意

電波法第59条で『特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない』と通信の秘密に関して定められています。
本機の取り扱いには十分配慮し、電波法を守ってください。

お願いとおことわり

- 本機は厳重な管理の下に生産および出荷されますが、万が一、ご不審な点やお気付きの点がありましたら、できるだけ早くお買い上げいただいた販売店または弊社営業所へご連絡ください。
- 本機は広帯域受信機ですので、本体の内部発振（スプリアス）により、受信できなかったり、雑音を発生する周波数もありますが、故障ではありません。
- この取扱説明書は、予告なく変更することがあります。

付属品と取り付け方 付属品/アンテナの取り付け

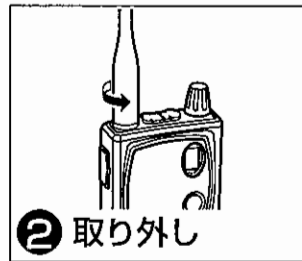
付属品

開封しましたら、付属品をご確認ください。

- ☐ ベルトクリップ
- ☐ ハンドストラップ
- ☐ ストラップチェーン
- ☐ アンテナ
- ☐ フェイスシート（英文）
- ☐ フェイスシート型紙
- ☐ 取扱説明書
- ☐ 保証書

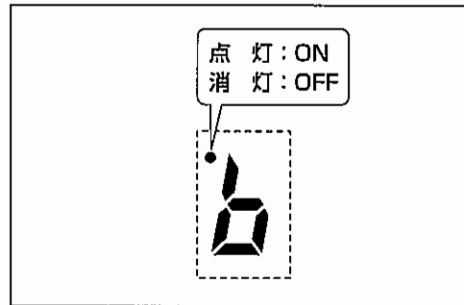
アンテナの取り付け

①アンテナをアンテナコネクターに差し込みます。
②アンテナの根元を持って、時計方向にゆっくり回します。

市販のアンテナを使用するときは、アンテナソースは外部電源のアースと共通にならないように設置してください。

反対方向に回します。

セットモード ビープ機能

本機から鳴るビープ音（操作音）のON/OFFを設定します。操作音がわずらわしい時は、OFFにしてください。

初期状態では、ONに設定されています。

①Fキーを押し、F の点滅中にダイヤルを押して、表示を b に合わせます。
②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。
→ポインタが点灯すると、ビープ機能がONとなります。
③Fキーを押して、設定を完了します。

セットモード　スキャン再開条件の設定

本機はスキャン中に信号を受信するとスキャンが一時停止します。この設定では、一時停止後の再開条件を設定します。

点　灯：タイマースキャン
点　滅：ホールドスキャン
消　灯：ビジースキャン

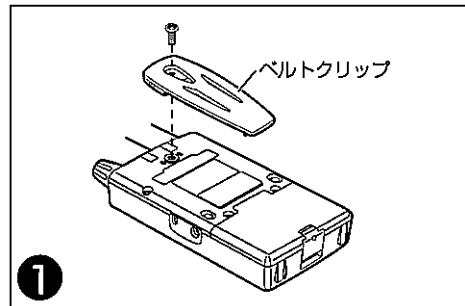
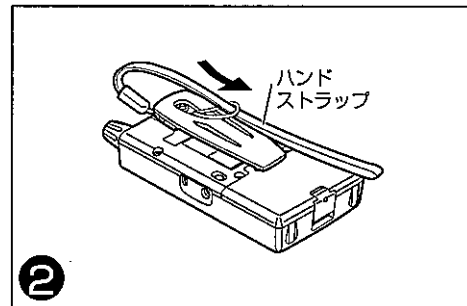
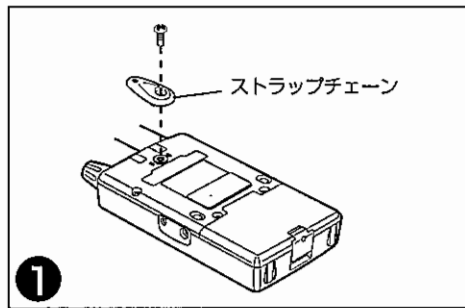
・初期状態では、ビジースキャンに設定されています。
・一度聞こえて消えた信号を、次に聞こえるまで待つ「待ち受け受信」をする時は、ホールドスキャンを選んでください。

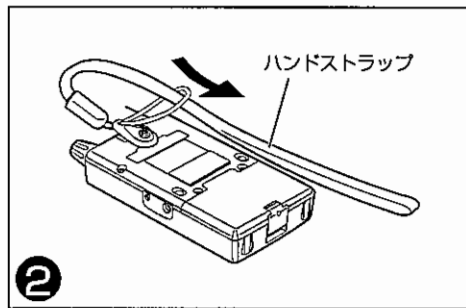
①Fキーを押し、F の点滅中にダイヤルを押して、表示を L に合わせます。

②ダイヤルを回して、タイマースキャン/ホールドスキャン/ビジースキャンを切り替えます。

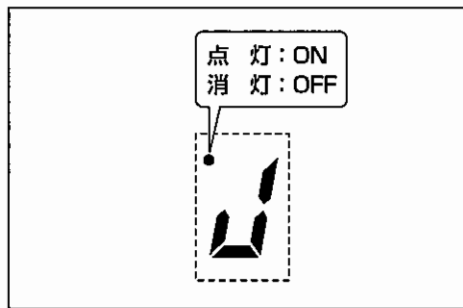
点　灯：タイマースキャンとなり、信号受信中でも5秒経過するとスキャンを再開します。
点　滅：ホールドスキャンとなり、一度信号を受信するとダイヤルを回さない限りスキャンは再開されません。
消　灯：ビジースキャンとなり、信号を受信しなくなるとスキャンを再開します。

③Fキーを押して、設定を完了します。

付属品と取り付け方　ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを付属のネジで本機に取り付けます。

ハンドストラップを、ベルトクリップと本機の溝の間に取り付けます。

ストラップチェーンの取り付け

ストラップチェーンを付属のネジで本機に取り付けます。

ストラップチェーンの穴にハンドストラップを取り付けます。

充電機能

市販品の単3型ニッケル水素充電池またはニッカド充電池を装着し、外部電源端子よりトリクル充電できます。

①Fキーを押し、F の点滅中にダイヤルを押して、表示を に合わせます。
②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。
→ポインタが点灯するとONとなり、充電できます。
③Fキーを押して、設定を完了します。
→充電を続ける場合、本体の電源はONのままにしてください。

●充電時間のめやす

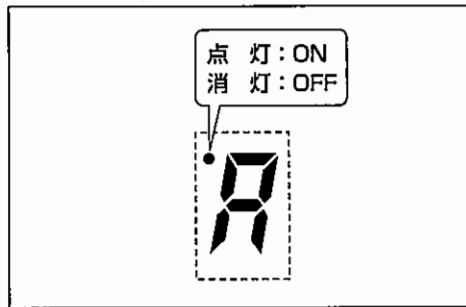
使用する電源	1000mAh タイプ	2000mAh タイプ
EDC121AもしくはEDC121R使用時	6.25時間	12.5時間
EDC122もしくは外部電源(4.5V~6V)使用時	10時間	20時間

注意
・本体の電源がON状態でのみ充電できます。
・充電中も本機を使用できます。
・単三乾電池装着時は絶対に充電しないでください。液漏れなどの原因となります。

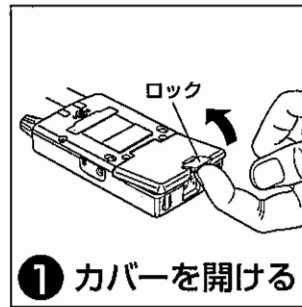
メモ　初期状態では、OFFに設定されています。

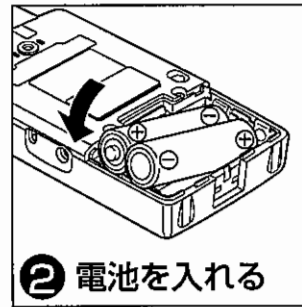
セットモード　アッテネータ

他の周波数からの影響を軽減する機能です。他の周波数の信号が受信中の信号に重なって聞こえる場合などにONにします。

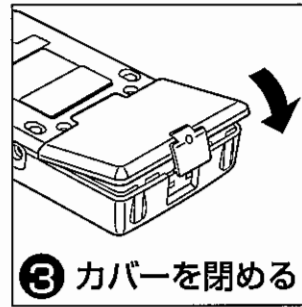
初期状態では、OFFに設定されています。この機能をONにすると、受信感度が低くなります。他の周波数からの影響を受けていない時は、OFFにしておいてください。

①Fキーを押し、F の点滅中にダイヤルを押して、表示を A に合わせます。
②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。
→ポインタが点灯するとONとなり、受信信号レベルを約20dB減衰します。
③Fキーを押して、設定を完了します。

付属品と取り付け方　電池の入れ方

本機を初めてお使いになる前に、電池を入れてください。

❶ カバーを開ける

①ロックを外します。
②カバーを開けます。

❷ 電池を入れる

ケース内の＋・－の印と合わせて、新しい単三型乾電池を2本入れます。

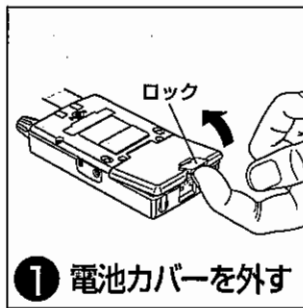
注意　＋・－の向きが違わないように注意してください。

❸ カバーを閉める

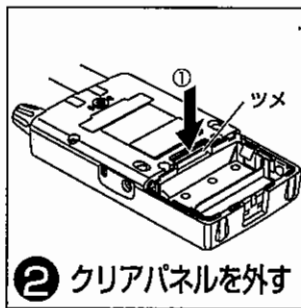
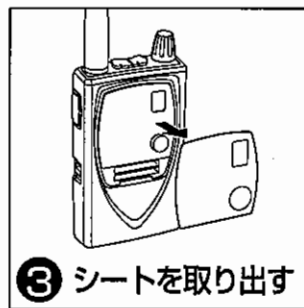
①ツメを合わせます。
②カバーを閉めます。
③ロックをかけます。
→きちんと閉まったことを確認してください。

フェイスシートの交換

お客様がデザインしたオリジナルシートと交換する方法を説明します。

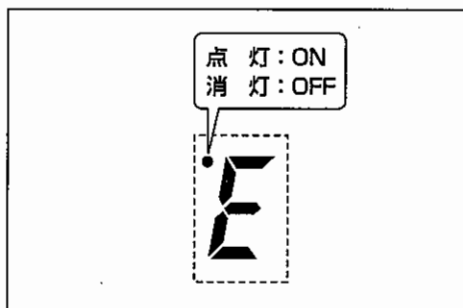
❶ 電池カバーを外す

❷ クリアパネルを外す

❸ シートを取り出す

①ロックを外します。
②カバーを開けます。

①クリアパネルのツメを押し込みます。
→クリアパネルが浮き上がります。
②浮き上がったクリアパネルを本体から取り外します。

クリアパネルの下に挟まっているシートを取り出します。

イヤホンアンテナ

イヤホンのコードをアンテナとして利用する機能です。

・初期状態では、OFFに設定されています。
・OFFの時は、付属のホイップアンテナを使用します。
・イヤホンは別売です。

①Fキーを押し、F の点滅中にダイヤルを押して、表示を E に合わせます。
②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。
→ポインタが点灯するとONとなり、イヤホンのコードをアンテナとして利用できます。
③Fキーを押して、設定を完了します。

音声反転機能

特定小電力無線やコードレス電話で使われている「秘話」機能を使った信号を、本機で聞き取れるようにする機能です。モガモガこもった信号を受信した時は、この機能を試してください。

点　灯：ON
消　灯：OFF

H

・初期状態では、OFFに設定されています。
・通常の信号を受信中にこの機能をONにすると、正常に音声が受信できなくなります。

①Fキーを押し、F の点滅中にダイヤルを押して、表示を H に合わせます。
②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。
　→ポインタが点灯するとONとなります。
③Fキーを押して、設定を完了します。

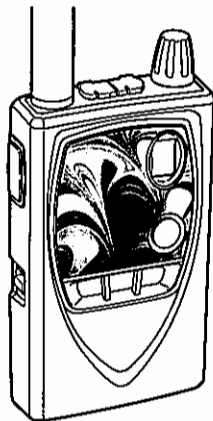
❹ 新しいシートを付ける

お客様がご用意された新しいシートを取り付けます。

付属の型紙を使用し、オリジナルシートを作成してください。

❺ クリアパネルを付ける

①上部にツメを挿し込みます。
②下部のツメを内側に寄せながら、矢印の方向へ差し込みます。

写真やイラストを使うと、より個性的なDJ-X01に変身させることができます。

各部の名前とはたらき　本体部

本機の各部の名前とはたらきを説明します。

アンテナコネクター
付属のアンテナを接続するコネクターです。
（☞ P8）

[F] キー（ファンクションキー）/ [ロック] キー
セットモードの開始に使用します。
また、約1秒間押し続けると、キーロックができます。
再度押し続けると、キーロックが解除されます。
（☞ P33）

電源スイッチ
上方向にスライドさせると電源が入ります。

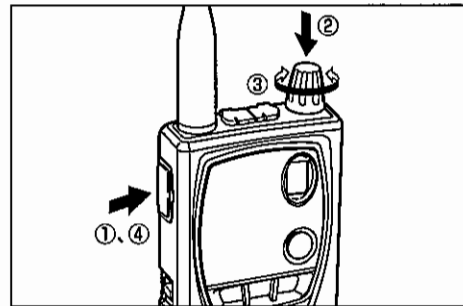
ディスプレイ
バンドや音量など各種設定内容が表示されます。
（☞ P16）

バンドキー
バンドを変更する時に使います。

スピーカ
薄型スピーカが内蔵されています。

セットモード　セットモードの設定と設定一覧

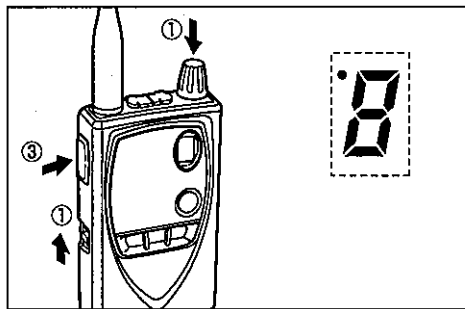
セットモードは、各種機能をより使いやすくするために、本機をカスタマイズする機能です。
次の項目が設定できます。

設定方法

①Fキーを押します。
②F 点滅中にダイヤルを押します。
→ダイヤルを押すごとに、セットモードの設定項目が切り替わります。
③ダイヤルを回して、設定を切り替えます。
④Fキーを押して、設定を完了します。

設定一覧

設定一覧	初期設定
H 音声反転機能の設定	OFF
E イヤホンアンテナの設定	OFF
A アッテネータの設定	OFF
J 充電機能の設定	OFF
E スキャンの再開条件の設定	ビジースキャン
b ビープ機能の設定	ON

DJ-X01の便利な機能　リセット

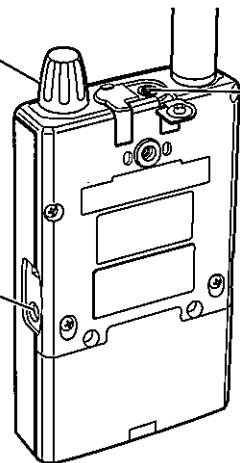
各設定が工場出荷時の状態に戻ります。本書の説明どおりに操作できる状態に戻るので、使い方が分からなくなった場合などに便利です。

①ダイヤルを押しながら、電源をONにします。
　→ 8 が表示されます。
②ダイヤルを離します。
　→ r が3秒間点滅します。
③ r 点滅中にFキーを押します。

ダイヤル、［音量/セットモード］キー

ダイヤルを回して各種設定を行います。ダイヤルを押すと音量調整、スケルチ、F点滅状態で押すとセットモードの項目を選択できます。

DC-IN

外部電源端子です。
オプションのシガーライターケーブル（EDH-18）を接続すると、車中で使用できます。
ニッケル水素充電池、ニッカド充電池を装着しトリクル充電できます。（☞ P39）

注意　外部電源のプラグの抜き差しは、本機の電源をOFFにしてから行ってください。

イヤホン端子（φ3.5）

イヤホンや外部スピーカを接続する端子です。

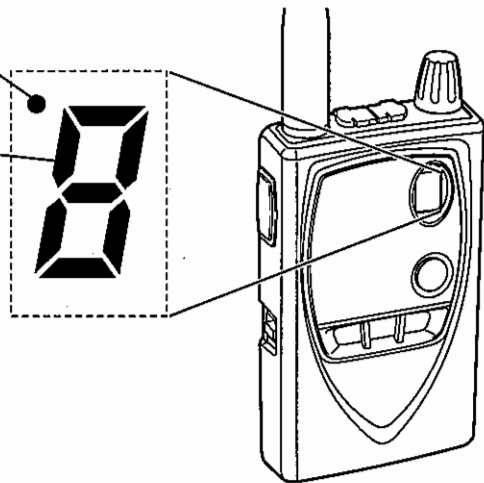
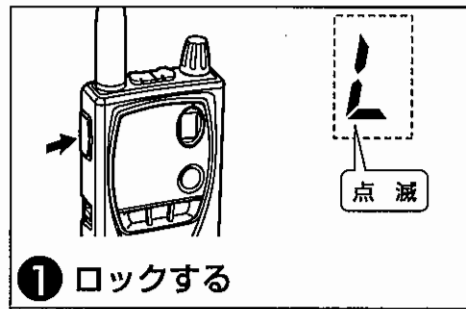
ディスプレイ部

ポインタ

各種状態を表します。

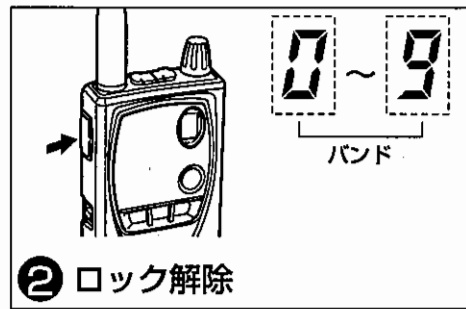
数字表示器

バンドや音量、各種設定状態を数字やアルファベットにより表します。

キーロック機能

キーロックを設定しておくと、ボタンを誤って押すなどして、思わぬ動作をさせてしまうことを防ぎます。

❶ ロックする

Fキーを1秒以上押し続けます。

→「ピピピピピ」音が鳴り、L が3回点滅した後に元の表示に戻ります。

・キーロック中でも、音量、スケルチ調整は操作可能です。
・電源を入れ直しても、キーロックは保持されます。

❷ ロック解除

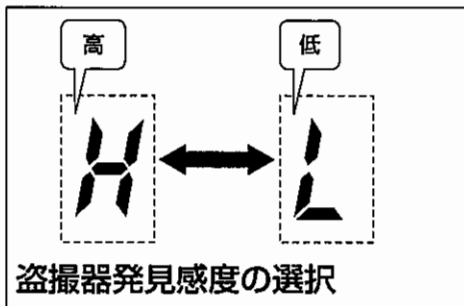
解除するには、再度Fキーを1秒以上押し続けます。

→「ピピ」音が鳴り、L が1回点滅した後に元の表示に戻ります。

注意
キーロック中にバンドキー、Fキーを押すと「ブブブ」音（無効音）が鳴り、L が点滅してキーロック中であることを知らせます。
キーロックを解除してから各操作を行ってください。

盗撮器発見機能の感度設定

盗撮器発見機能動作時の探知感度を高、低から選択できます。

初期状態では高に設定されています。

①盗撮器発見機能を動作させます。
②バンドキーを押します。
→バンドキーを押すごとに、高と低を切り替えます。

注意 発見能力は電波の周波数および出力によって異なります。

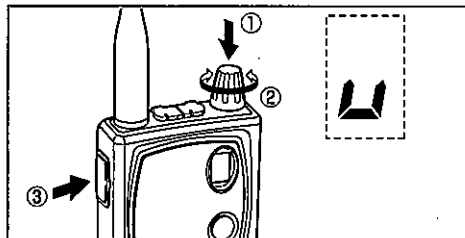
DJ-X01を使ってみよう 電源のON/OFF

本機の電源をON/OFFする方法を説明します。

電源スイッチを上にスライドします。
→本機の電源がONになります。

電源スイッチを下にスライドします。
→本機の電源がOFFになります。

音量の調整

本機の音量調整方法を説明します。

①ダイヤルを押します。
→ディスプレイに「v」が表示されます。

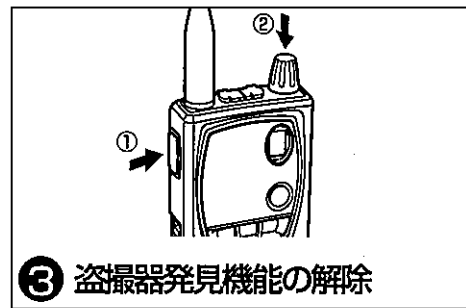
初期状態は音量値「9」です。
②ダイヤルを回して音量値を調整します。
→表示中にダイヤルを回すと、音量が増減できます。音量値は30段階（0～29）で増減できます。

③希望の音量値を選択したら、Fキーを押します。
→通常の受信状態に戻ります。

音量表示

段階	0～9	10～19	20～29
表示	0～9	ポインタ+0 ～ ポインタ+9 (ポインタ点滅)	ポインタ+0 ～ ポインタ+9 (ポインタ点灯)

●表示例

音量値9　音量値19　音量値29

❸ 盗撮器発見機能の解除

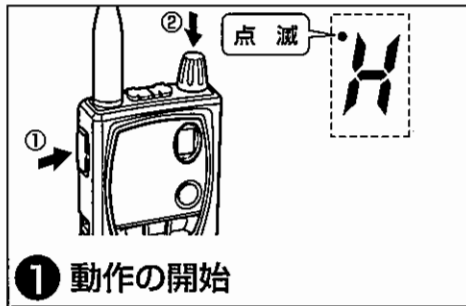
①Fキーを押します。

②F 点滅中に、ダイヤルを2秒以上押し続けます。
→盗撮器発見機能が解除されます。

DJ-X01の便利な機能　盗撮器発見機能

周囲から非常に強い電波が出ていると、それに反応し、警告音を出します。この機能では、電波の性質を調べるのではなく、「強い電波の有無」を探ります。

❶ 動作の開始

❷ 強い電波を発見したら・・・

①Fキーを押します。
②[F]点滅中に、ダイヤルを2秒以上押し続けます。
→[H]とポインタだけが点滅して、「ピッピッ」音が鳴り出します。

・電気製品の中には、携帯電話など、電波やノイズを出すものがあります。電気製品の近くで盗撮器を探す場合は、電気製品の電源を切ってください。
・ビープ機能はONにしてください。

盗撮器（盗聴器）が持つ強い電波を受信すると、電波の発信源との間の距離をポインタと音で知らせます。

①本機を持ったまま、周囲を歩き回り、ポインタの点滅間隔と警告音の間隔が一番短い場所を探します。
②①の動作を繰り返して、電波の発信源を特定します。一番近い場所では警告音は「ピー」と連続した音になります。

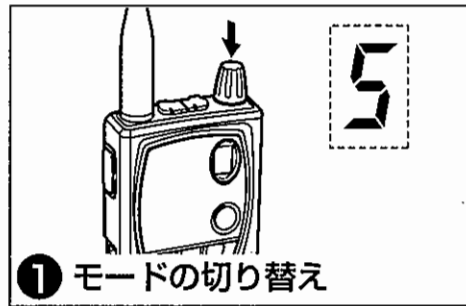
DJ-X01を使ってみよう　スケルチの調整

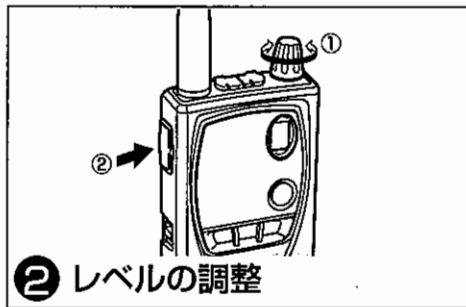
本機のスケルチレベルを調整する方法を説明します。

スケルチとは？

スケルチとは、一定レベル以上の信号を受信した時だけ、スピーカから音声を出力する機能です。受信信号がない時はスピーカから出力される雑音をカットするので、受信がしやすくなる反面、レベルを上げ過ぎると弱い信号を受信しても聞くことができません。スケルチの作動中に、信号を受信して受信音を出すことを、「スケルチが開く」と呼びます。逆の場合は「スケルチが閉じる」と呼びます。どの程度の信号を受信した時にスケルチが開くかは、スケルチの設定レベルで決まります。

初期状態のスケルチレベルは「3」です。

❶ モードの切り替え

ダイヤルを2回押します。
→ディスプレイに[5]と表示されます。

音量調整モードになっている時は、1回だけ押します。

①ダイヤルを回して、スケルチレベルを調整します。
②Fキーを押します。
→スケルチレベルの調整が完了しました。

・スケルチレベルは0～9の10段階で調整できます。数字が大きくなるほどスケルチが開きにくくなります。通常は「サー」というノイズが消える一番低いレベルに設定します。
・スケルチを常に開いた状態にしたいときは、スケルチレベルを0に設定します。
・スケルチが開いた状態では、次ページで説明する「スキャンモード」が働かず、現在のチャンネルで受信を続けます。

盗聴器発見機能の感度設定

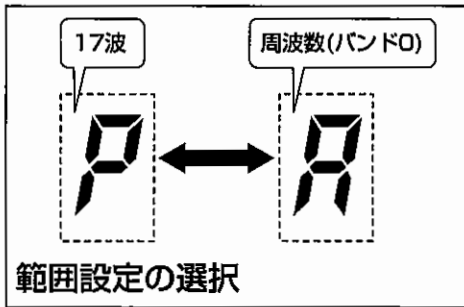
盗聴器発見機能動作時の探知感度を、高感度/普通/低感度から選択します。

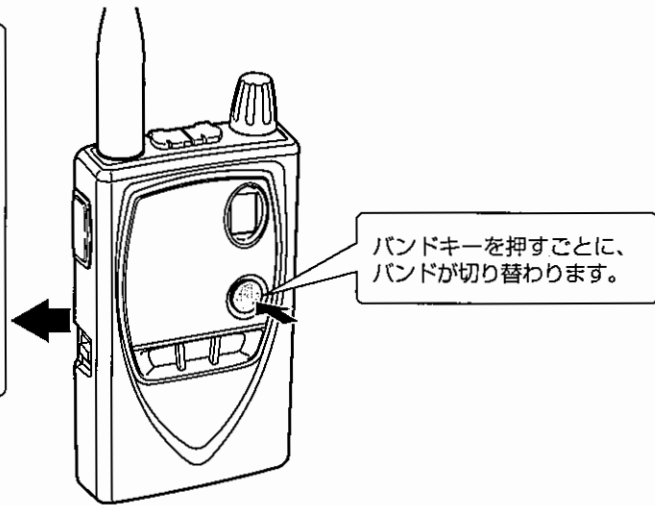
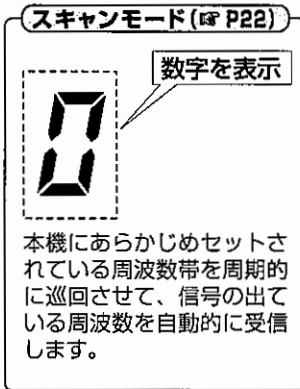
初期状態では普通に設定されています。

①盗聴器発見機能を動作させます。
②Fキーを押して、F 点滅中にバンドキーを押します。
→ ┌ が点灯します。
③ ┌ 点灯中にダイヤルを回して、感度を切り替えます。
④Fキーを押して、設定を完了します。

盗聴器発見周波数範囲設定

盗聴器発見機能でスキャンする周波数の範囲を、盗聴器でよく使用されている「17波」P か、盗聴器で使用されている可能性のある周波数(バンド0) A のどちらかを選択します。

・初期状態では「17波」に設定されています。
・「17波」では、スキャンは早く終わりますが、「17波」以外の周波数を使った盗聴器は発見できなくなります。

①盗聴器発見機能を動作させます。
②バンドキーを押します。
→バンドキーを押すごとに、「17波」と全周波数範囲が切り替わります。

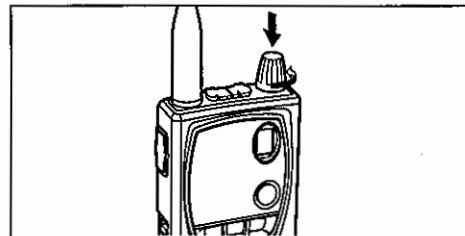
運　用

スキャンの種類

受信中の信号から次の信号を探す、スキャンの再開条件を次の3つから選択できます。

●タイマースキャン
信号を受信中でも、5秒経過するとスキャンを再開します。

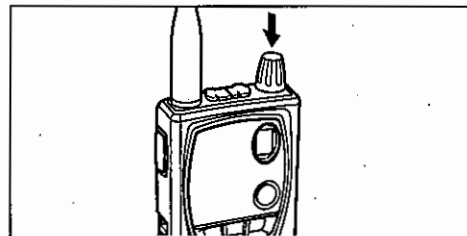
●ビジースキャン
信号を受信しなくなってからスキャンを再開します。

●ホールドスキャン
いったん信号を受信すると、ダイヤルを回さない限りスキャンは再開されません。

スキャンの種類の変更方法は、「スキャン再開条件の設定」（☞ P40）を参照してください。

❸ 盗聴器の場所の特定

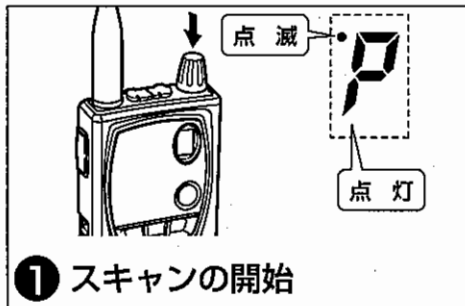
①ハウリング音が止まるところまで音量を下げます。
→音量を下げ過ぎると、盗聴器の場所を特定できません。

②本機のアンテナをいろいろな方向へ振りかざします。
→盗聴器があると考えられる方向へ振りかざしたときに、ハウリング音が鳴ります。盗聴器であれば、周囲の音も同時に聞こえます。

③①、②を繰り返すと、反応する範囲が狭くなり盗聴器のある場所を特定できます。

❹ 盗聴器発見機能の解除

ダイヤルを2秒以上押し続けます。
→盗聴器発見機能が解除されます。

DJ-X01の便利な機能　盗聴器発見機能

盗聴器で使われそうな周波数をスキャンして、盗聴器を発見する機能です。

❶ スキャンの開始

ダイヤルを2秒以上押し続けます。

→ディスプレイに P が点灯、ポインタが点滅して、スキャンが開始されます。

注意
・スピーカの開口部をふさがないでください。
・この機能を動作させる時は、必ずイヤホンを外してください。

❷ 盗聴器を発見したら・・・

盗聴器の特徴を持つ電波を受信すると、「ピピ」音とともにポインタが点灯、R もしくは P が点滅に変わります。

スキャンの動作/表示

●スキャンの開始

スキャン停止中にダイヤルを回すと、ダイヤルを回した方向にスキャンが始まります。

●スキャン方向の切り替え

スキャン中にダイヤルを回すと、スキャン方向がダイヤルを回した方向に切り替わります。

●ディスプレイの表示

3（現在のバンド）　スキャン停止中です。

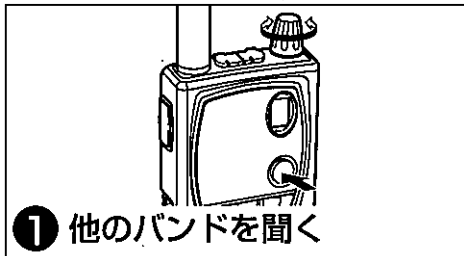
u（時計回りに回転）　あらかじめプログラムされている周波数を前から後ろに向けてスキャンします。

j（逆時計回りに回転）　あらかじめプログラムされている周波数を後ろから前に向けてスキャンします。

メモ　あらかじめプログラムされている周波数は「付録 バンド周波数一覧(☞ P43)」を参照してください。

バンドとは？

バンドとは、本機がスキャン・受信できるすべての周波数を、目的別に分けたグループのことです。
たとえば、FMラジオをスキャン・受信するにはバンド1を、コードレス電話をスキャン・受信するにはバンド5を選びます。目的に合ったバンドを選んでおくと、本機はバンド内の周波数帯だけをスキャンしますので、受信したい信号をすばやく探せます。

バンドを変える

❶ 他のバンドを聞く

バンドキーを押してください。
→バンドキーを押すたびにディスプレイの数字が変わり、聞きたいバンドの番号を表示します。

スキャンモード

バンド一覧

バンド	一覧
バンド1	FMラジオ、TV1ch~3ch
バンド2	VHF航空無線
バンド3	VHF/UHFアマチュア無線
バンド4	船舶無線（国際VHF）
バンド5	コードレス電話
バンド6	特定小電力無線
バンド7	道路公団、JAF等
バンド8	救急、消防、防災
バンド9	各種業務無線（電力、ガス、マスコミ等）
バンド0	盗聴周波数※

※盗聴は違法行為であり、決まった周波数が使われる事はありません。このバンドに書き込まれた周波数は雑誌等で公表されたデータを基に代表的なチャンネルを編集したものです。

バンド1では、目的の周波数の前後でスケルチを開くことがあります。
この場合は、ダイヤルを回して最も聞こえやすいチャンネルに合わせてください。